

「生理の貧困」解決へ向けて 県内初、全小中学校へ生理用品を配置

令和4年6月1日より、武雄市立の小中学校において、小学校4年生以上が使用する女子トイレに生理用品の設置を始めました。経済的理由のみならず、急に生理になってしまった時や手持ちの生理用品では足りなくなってしまう時など、安心して学校生活を送ることができるようにすることが、この事業の目的です。なお、全小中学校へ配置は、県内初となります。

◆事業の目的

生理用品を、必要な時に必要な児童生徒が心理的負担なく使用でき、全員が安心して学校生活を送ることができるようにする。

◆トイレ内配置以前の状況

生理用品を保健室に常備し、必要な児童生徒が受け取り、後日借りた分を返却する方法をとっていた。

しかし、保健室には男子児童生徒も出入りすることもあり、利用を躊躇する女子児童生徒がいた可能性が考えられる。

◆今回の取り組み

武雄市立の小中学校において、小学校4年生以上の女子トイレに生理用品を配置する。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市子ども教育部学校教育課 TEL 0954-23-8010